

令和7年度 事業報告書

自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

（1）普及吟詠発表会

「普及吟詠発表会」を地区又は団体において開催、これを支援した。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

（1）少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を中学生以下の者を対象に、各地域主体で開催、これを支援した。

（2）尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

「尚歯会吟詠大会」を70歳以上の者を対象に、地区または団体において開催、これを支援した。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

（1）準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の資格審査申請に基づき、188名に認定証（許證）を交付した。審査料は実費程度。

（2）師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、「師範審査会」を以下の会場で開催し、資格審査合格者87名に認定証（許證）を交付した。審査料5,500円/名。事業費847,189円。

① 札幌会場：令和7年 8月22日（金）北海道立道民活動センター かでる2・7

② 東京第一会場：令和7年10月 4日（土）吟道会館

③ 大阪会場：令和7年11月19日（水）ホテルアウリーナ大阪

④ 沖縄会場：令和8年 1月24日（土）アイムユニバースてだこホール多目的室

⑤ 東京第二会場：令和8年 2月 7日（土）吟道会館

（3）正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集して、「正師範審査会」を令和7年9月6日（土）吟道会館（東京）で開催し、資格審査合格者35名に認定証（許證）を交付した。審査料11,000円/名。事業費324,986円。

（4）上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集して、「上席師範審査会」を令和7年6月29日（日）吟道会館（東京）で開催し、資格審査合格者11名に認定証（許證）を交付した。審査料40,000円/名。事業費477,116円。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）（下）』、『吟詠教材シリーズⅠ 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』等を作成し、以下のとおり希望者に頒布した。

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』：197冊

『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』：2,400冊

『吟詠教本 和歌篇（上）（下）』：1,043冊

『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』：528冊

『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）（下）』：954冊

『吟詠教材シリーズⅠ 俳諧歌撰』：342冊

『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』：326冊

『新装新版愛吟集』：301冊

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回毎月35,800部を発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付し、詩吟の活動を普及した。事業費21,697,012円（印刷費・発送費等）。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

（1）全国吟道講座

「第70回記念夏季吟道大学講座」を令和7年7月19日（土）～20日（日）ニッショーホール（東京）において、総本部講師5名、外部講師2名により、全国から会員及び会員以外の詩吟愛好者659名が高度な詩吟の吟じ方及び詩歌の鑑賞について、専門的知識、技能を研修した。

研修後の感想では、参加者の9割以上が「吟法等の知識が向上した」と回答した。

受講料8,800円/名。事業費5,401,414円。

（2）地区吟道講座

「地区吟道講座」を全国10地区の11会場で開催、総本部講師3名で詩吟の普及向上を目的とし開催、全地区で4,215名が受講した。受講料4,400円/名。事業費8,199,731円。

- ① 令和7年 9月28日（日） 射水会場（北陸地区）アイザック小杉文化ホールラポール（富山）
- ② 令和7年10月 5日（日） 津島会場（中部地区）津島市文化会館（愛知）
- ③ 令和7年10月10日（金） 札幌会場（北海道地区）かでのホール（北海道）
- ④ 令和7年11月 3日（祝） 盛岡会場（東北地区）盛岡市都南文化会館キャラホール（岩手）
- ⑤ 令和7年11月 9日（日） 土佐会場（中国四国地区）土佐市複合文化施設つなでブルーホール（高知）
- ⑥ 令和7年11月12日（水） 茅野会場（長野地区）茅野市民館マルチホール（長野）
- ⑦ 令和7年12月 7日（日） 高槻会場（近畿地区）高槻城公園芸術文化劇場 中ホール（大阪）
- ⑧ 令和8年 1月25日（日） 浦添会場（九州地区）アイムユニバースてだこホール市民交流室（沖縄）
- ⑨ 令和8年 1月31日（土） 船堀会場（関東地区）タワーホール船堀 大ホール（東京）
- ⑩ 令和8年 2月13日（金） 三島会場（神静地区）三島市民文化会館（静岡）
- ⑪ 令和8年 2月23日（祝） 須恵会場（九州地区）アザレアホール須恵（福岡）

（3）特別講座

- ① 「吟道会館特別講座」は、漢詩、和歌、近現代詩及び俳句等のテーマについて、吟詠の方法を研修、詩吟の普及向上を目的とし開催するものであるが、準備期間等の問題もあり、事業計画どおり休止した。
- ② 「日本詩吟学院公開講座」を吟道会館（東京）において、各回、講師及びテーマを変え、7月を除き毎月開催した。963名の参加者があった。受講料2,200円/名。事業費1,071,585円。
- ③ 「吟道修学院」は、事業計画どおり休止した。所期の成果を得るに至り、得られた成果を基盤として、事業の更なる発展を図るための次期施策について検討を進めている。

（4）木村岳風記念館吟詠講座

「木村岳風記念館特別講座」は、木村岳風記念館の研修センターを活用し、全国の吟詠愛好者及び一般を対象に吟詠講座を実施するものであるが、事業計画どおり休止した。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「中国移動教室」は、昨今の世界情勢の不安定化や感染症拡大の影響により事業環境は大きく変動、公益性・持続可能性の観点から総合的に検討し、事業計画どおり休止した。

(2) 国内移動教室

「国内移動教室」は、「中国移動教室」と同様に、公益性・持続可能性の観点から総合的に検討し、事業計画どおり休止した。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」及び「全国優秀吟者吟道大会」の地区予選を行った。審査は総本部審査委員会より委嘱された審査委員により行われ、独吟（漢詩・和歌）及び連吟の特に優秀な者は全国優秀吟者吟道大会に推薦され、合吟の特に優秀な団体は全国吟道大会に推薦された。総本部はその運営を支援した。

- ① 令和7年4月20日（日） 北陸地区 富山県高岡文化ホール 大ホール（富山）
- ② 令和7年4月26日（土） 長野地区 小諸市文化センター（長野）
- ③ 令和7年4月27日（日） 神静地区 小田原三の丸ホール（神奈川）
- ④ 令和7年5月11日（日） 北海道地区 かでるホール（北海道）
- ⑤ 令和7年5月11日（日） 東北地区 山形テルサ 大ホール（山形）
- ⑥ 令和7年5月17日（土） 関東地区 ニッショーホール（東京）
- ⑦ 令和7年5月17日（土） 近畿地区 神戸文化ホール 中ホール（兵庫）
- ⑧ 令和7年5月18日（日） 中部地区 津島市文化会館（愛知）
- ⑨ 令和7年5月18日（日） 中国四国地区 しこちゅ〜ホール（四国中央市市民文化ホール）（愛媛）
- ⑩ 令和7年5月18日（日） 九州地区 アザレアホール須恵（福岡）

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を以下の地区で開催、これを支援した。

- ① 令和7年5月24日（土）神静地区 小田原三の丸ホール（神奈川）

9 全国吟道大会・全国優秀吟者吟道大会・全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

① 全国吟道大会

「第135回全国吟道大会」を令和7年10月24日（金）ベネックス長崎ブリックホール（長崎）において吟詠の鑑賞を目的として開催。全国より出吟者・入場者1,435名が参加した。合吟競吟の最優秀団体には文部科学大臣賞が贈られた。事業費9,092,730円。

② 全国俳句俳諧歌吟詠大会

「第2回全国俳句俳諧歌吟詠大会」を令和8年3月8日（日）日経ホール（東京）において俳句俳諧歌に特化した吟詠の場として開催。全国より出吟者・入場者578名が参加した。参加者相互の投票で選ばれた各部門の入賞者には特別賞が贈られた。事業費1,641,111円。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第31回全国優秀吟者吟道大会」を令和7年9月20日（土）ニッショーホール（東京）において練成の成果を発表する場として開催。全国10地区から選出された吟者及び入場者計646名が参加した。独吟漢詩の部及び和歌の部と連吟の部の入賞者には、祖宗範木村岳風賞他が贈られた。事業費2,786,936円。

(3) 全国認可団体代表吟道大会（全国特別維持会員吟道大会）

「第5回全国特別維持会員吟道大会」は、事業環境の変化等を踏まえ、事業計画どおり休止した。現行の形態で継続する必要性については、今後検討を進める。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人（昭和11年創立）の創設者である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心と

した歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を一般に公開した。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

(1) 資格審査及び段伝位等の審査を行った。

(2) 定時社員総会

「第16回定時社員総会」を令和7年6月14日(土)吟道会館(東京)において開催し、令和6年度の決算報告の後、以下の事項について審議、承認可決された。総本部役員及び社員140名(内70名は書面議決権行使)が出席した。

①令和6年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録承認の件

②定款一部変更の件

③定款施行細則並びに諸規程改定の件

(3) 認可団体等連絡会議

「令和7年度認可団体等連絡会議」を全国10地区で開催し、「定款」の変更、「定款施行細則並びに諸規程」の改定等を説明した。総本部役員と地区担当理事及び当該地区の団体代表者等が参加し、意見交換を行った。事業費907,017円。

① 令和7年8月 6日(水) 北陸地区 高岡市生涯学習センター(富山)

② 令和7年8月 7日(木) 長野地区 木村岳風記念館(長野)

③ 令和7年8月 9日(土) 中部地区 甚目寺産業会館(愛知)

④ 令和7年8月21日(木) 北海道地区 北海道立道民活動センターかでの2・7(北海道)

⑤ 令和7年8月27日(水) 九州地区 エイムアテイン博多駅前(福岡)

⑥ 令和7年8月28日(木) 中国四国地区 岡山国際交流センター(岡山)

⑦ 令和7年8月29日(金) 近畿地区 ホテルアウリーナ大阪(大阪)

⑧ 令和7年9月 2日(火) 関東地区 吟道会館(東京)

⑨ 令和7年9月 3日(水) 東北地区 福島テルサ(福島)

⑩ 令和7年9月 4日(木) 神静地区 吟道会館(東京)

(4) 役員合同会議

「令和7年度役員合同会議」を令和8年3月7日(土)吟道会館(東京)において開催し、以下の事項について説明した。理事、監事、最高顧問、特別顧問、相談役及び参与の総本部役員60名が参加し、質疑応答を行った。事業費は参加者交通費499,820円。

①公益法人制度改正(令和7年4月施行)後の事業計画および予算について

②令和8年度 事業計画について

③令和8年度 収支予算について

(5) 研修会

令和7年度「参事・地区幹事研修会」は、スケジュール等の制約により休止した。

(6) 認可団体新設認可

令和7年度は、認可団体設立の申請はなかった。

(7) 認承団体新設認承

認承団体設立の申請に基づき、岡谷岳風会(令和7年4月1日付)を認承団体として認承した。

(8) ホームページの活用

以下の目的を充実するため、ホームページにて情報を公開及び発信し、随時更新した。当該年度中の閲覧者数45,295件。

① 広報活動と情報公開の一環として、学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会等事業の募集案内等を掲載した。

② 吟詠を学びたい不特定多数の者に対し、当学院の認可団体及び認承団体の教室を紹介した。教室照会件数61件。

③ 機関誌『吟道』の「巻頭詩」等、吟詠を視聴できるコーナーを設けた。

(9) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図った。

- (10) 教本等に関する質問への回答
教本の内容等に関する疑義等は、原則、団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付けて、回答した。
- (11) 公益目的事業を達成するため、定時社員総会のほか、業務執行理事会および理事会、各委員会・各部局等の会議を吟道会館において58回開催した。
- (12) 吟道会館の運営
公益目的事業を達成するための拠点とし、また、吟詠関連の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行った。
「吟道会館」の維持・管理のため、団体及び会員並びに一般より寄付を受け付けた。令和7年度は407,655円の寄付があった。
- (13) 木村岳風記念館（吟道研修センター）・祖宗範木村岳風墓所の維持及び管理並びに木村岳風記念館・祖宗範木村岳風生家所蔵資料の整理、保管及び管理を行った。
- (14) 法人の運営体制の充実を図るための取組み
- ① 法令等遵守（コンプライアンス）体制
 - i) 令和8年3月6日（金）吟道会館（東京）において、「令和7年4月施行の公益法人制度改正の概要について」をテーマとした理事・監事対象の研修会を資料と映像に基づき実施、制度改正の内容及び意義を周知、確認した。
 - ii) 既存の内部規範の見直しを進めた。
 - ② 組織運営（ガバナンス）の透明性と公正性の確保
 - i) 理事会を8回、定時社員総会を1回開き、運営に関わる重要な議題を審議した。
 - ii) 法令で義務付けられた情報を社員（正会員）に周知、またウェブサイトで公開した。
 - ③ 内部監査体制
 - i) 年2回の監査会をはじめとした内部監査を実施、業務監査並びに財務監査を行った。
- (15) その他
その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支えるための補助事業

収益事業 1 吟詠CD・DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠CDなど、各種教材等を作成し、希望者に頒布した。
- 2 詩吟の副教材として以下の頒布品を希望者に頒布した。
 - (1) 書 籍 『木村岳風』(通称「岳風伝」)、『詩歌作者事典』等。
 - (2) CD・DVD等 「漢詩から学ぼうDVD」、「木村岳風愛吟集CD」等。
 - (3) そ の 他
- 3 そ の 他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子等。

収益事業 2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

- 1 認定証(許證)発行
認可団体の資格審査申請に基づいて行われた昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査の合格者、級段伝位(7, 207名)、師範位(321名)に認定証(許證)を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業 1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

令和 7 年 7 月 1 日（火）長野県諏訪市地蔵寺において「木村岳風先生 74 回忌法要及び宣子夫人 60 回忌法要並びに日本詩吟学院功労物故者会員合祀祭」を執り行い、祖宗範木村岳風先生ご夫妻の法要と功労物故者会員 104 柱の合祀を行った。関係役員および遺族等が参列した。

その他の事業 2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

（1）冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗帥 9 名・宗匠 21 名・宗佑 35 名）を贈った。

（2）功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部 73 名・ボランティアの部 15 名・寿百歳の部 4 名・寿九十歳の部 350 名）の表彰を行った。

（3）高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員 19 名を表彰した。

（4）その他

- ① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰した。
- ② 会員増強（純増）前年比 10%以上または同 20 名以上を達成した 2 団体（はまゆう吟詠会・岳鐘会）を表彰した。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。